

## 青梅市社会教育委員会議 3 月定例会会議録

令和 4 年 3 月 1 5 日  
2 0 5 会 議 室  
出席者 委員 9 名  
事務局 3 名

### 1 開 会

【議 長】新型コロナウイルス感染症のオミクロン株が大変な状況だが、それ以上にロシアの戦争が言葉に表せないような状況である。冬季五輪も無事に終わったのに、冷たい状況になってしまった。花粉症も厳しいが、皆さんも気を付けていただきたい。

【課 長】ここ数日暖かくなり、過ごしやすくなった。新型コロナウイルス感染症の感染者数も徐々にではあるが減ってきている。いい方向に向かっていったらいいと思う。

### 2 報告事項

- (1) 令和 3 年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会実行委員会第 1 3 回  
実行委員会の開催（オンライン開催）について （報告資料 1）

ア 日 時 令和 4 年 2 月 2 1 日（月）午前 1 0 時～

イ 出席者 宮野議長 事務局：土屋、田畑

【事務局】事務局から概要説明。大会報告書は、ウェブでも抜粋版を 4 月 2 5 日まで掲載しているので、御覧いただきたい。

- (2) 令和 3 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第 2 回理事会の開催  
（オンライン開催）について （報告資料 2）

ア 日 程 令和 4 年 2 月 2 2 日（火）午後 3 時～

イ 参加者 宮野議長 事務局：土屋

【事務局】事務局から概要説明。推薦した青梅市社会教育委員 3 名も表彰されることになった。東京大会の特別会計について、約 8 0 万円残ったが、一般会計にいったん戻し入れて活用していくこととなった。これを単純に一般会計として毎年使い続けてしまっていて、1 0 年後の東京大会でまた資金がないというのは苦しいと思われるので、予備費の備考欄に記載する等、できるだけ残していきたい旨を青梅市から意見として挙げた。来年度については、大会等に参加できる方は、予定を空けておいていただきたい。

【議 長】皆さんの御協力のもと、青梅市は東京大会の実行委員として頑張ってきた。この状況下では大成功だったのではないかと考えている。支出を下げするため、大変な努力をした。今回は、4 年で 4 0 万円の積み立てを作って開催した面もある。特別会計の残金を一般会計として単純に使ってってしまうのは、次回の大会の際にまた苦しくなるのではないかという意見を挙げたところ、

他市からも同様の意見を得られたので、東京大会の残金を今後の10年で使い切らないよう工夫していくことになった。

(3) 令和4年度社会教育事業（案）について (報告資料3)

【事務局】事務局から概要説明。ファミリーコンサートについては、新型コロナウイルス感染症の影響で練習ができなかったことにより、すでに中止が決まっている。

【議長】新型コロナウイルス感染症も収まって、うまく開催できていたらいいと思う。

(4) 生涯学習フェスティバル～釜の淵新緑祭2022～の開催について (報告資料4)

【事務局】事務局から概要説明。昨年および一昨年が中止となったが、今年は開催したいと考えている。新型コロナウイルス感染症の影響により、人が集まっての開催が難しい可能性もあるため、多目的ホールを会場とする団体のうち可能な団体については、オンラインで動画配信をすることとなった。

【議長】ぜひ人が集まってできることを願っている。

(5) 今年度を振り返って（派遣委員報告等）

ア 青梅市生涯学習推進市民会議委員

栗原委員 任期 令和2年10月1日～令和4年9月30日

【委員】新緑祭が2年開催できていなかった。3年開催しないと忘れてしまうので、ぜひ開催したいと思う。

イ 青梅市美術館運営委員会委員

横手委員 任期 令和2年10月7日～令和4年10月6日

【委員】郷土博物館と美術館が一緒になるという話は止まっている。観覧料の見直しについても意見をいろいろ出したが、据え置きになった。新聞紙上でもトラブルが掲載されたりしていたので、次の会議の際で報告がもらえると考えている。

ウ 青梅市放課後子ども教室推進事業運営委員会委員

金子委員 任期 令和3年7月10日～令和5年7月9日

【委員】7月は緊急事態宣言で開催できず、12月に開催し、また、来週開催予定である。放課後子ども教室自体は、新型コロナウイルス感染症の影響で、やむを得ず開催できなかつたり規模を縮小して開催したりしていた。アンケートも実施し、要望がとて多という印象だった。開催後、帰宅前に迎えに来た車と元気のいい子どもが接触する事故があった。はしゃぐタイプの子も多かったかもしれないが、子どもを預かる放課後子ども教室としても、特性のある子どもをケアするのが重要であると感じた。

エ 青梅市図書館運営協議会委員

園田委員 任期 令和3年10月1日～令和5年9月30日

【委員】新型コロナウイルス感染症の影響で、図書館の運営も難しい状況だった。読み聞かせなど、今まで行ってきたものが開催できなかつたりした。保育園の園長会でも図書館の利用の案内をしてくれて、実際に利用させてもらった。味噌の作り方の本を取り寄せてくれて、味噌づくりで利用でき、ありがたかった。

オ 青梅市スポーツ振興審議会委員

市川委員 任期 令和2年5月14日～令和4年5月13日

【委員】会議は3回あった。スポーツ賞とスポーツ振興基金条例にもとづく審査を年2回行っている。青梅市スポーツ施設ストック適正化計画について話し合われている。永山総合運動場の体育館は廃止の方向である。ちがむら球技場、友田レクリエーション広場および沢井市民センターのプールは、集約化で施設の利用状況を勘案し、廃止を検討している。

(6) 生涯学習事業実施予定・結果

(報告資料5)

【事務局】事務局から概要説明。

～質疑なし～

(7) その他

～特になし～

### 3 協議事項

(1) 青梅市社会教育委員会議1月定例会会議録について

(協議資料1)

【事務局】事務局から概要説明。

～承認～

(2) 令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について

ア 日時 令和4年4月23日(土)午後

イ 場所 府中市市民活動センタープラッツ バルトホール

ウ 内容 表彰、議事(令和3年度事業・決算報告、令和4年事業計画等)、講演会(予定)

エ 出席者

宮野	金子	刀禰	神山	市川	栗原	吉野	山川	横手	園田
○	—	○	—	○	—	○	○	○	○

【事務局】開催通知はまだ届いていないが、現段階での出欠を確認したい。3名の表彰者がこの定期総会で表彰される。前々年度の会長が議長を担うことになっている。正式な通知が来たら、また案内をする。

(3) 青梅市芸術文化奨励賞基準の追記について (協議資料2)

【事務局】事務局から概要説明。現在の基準を補完する形で、小中学生を対象とした主な各種大会・コンクール等の基準の案を作成した。今までの対象者を基準としており、新しい賞があれば、それを参考に判断していく基準にしたいと考えている。意見をいただきたい。

【議長】学校の方にもこの基準が配られているのか。

【事務局】学校には配られていない。学校側からもわかりにくいとの声があり、この案を出したところである。社会教育委員会議で承認されたら、教育委員会へ挙げて、教育委員会でも承認されたら、学校へ出せるようになる。

【議長】今までの大会が網羅されているのであれば、これがあれば大丈夫ではないか。

【委員】書道の賞は多岐に渡っており、文部科学大臣賞という名称の賞がとても多い。応募数が少なくても文部科学大臣賞をもらえる大会もある。この基準は公開はしない方がいいのではないか。

【委員】スポーツだが、空手もいろいろ難しい。流派がいくつもあり、流派ごとの賞がある。学校でも、受賞した子どもの表彰状を朝会で読んであげるかどうかが悩みどころである。流派が多いものは難しい。

【副議長】何年か前の成人式の際に、正田彩音さんがピアノ演奏を披露された。音楽の世界はあまり流派もないので、判断がしやすいのではないか。正田さんが受賞された賞など、青梅で活躍されている方が受賞されている賞なども掲載しておいた方がいいのではないか。

【委員】書道に関しては、大会が多すぎるなどから、基準は公開しない方がいいと思う。

【議長】何かしらの基準がないと判断しづらい。これまでの実績を載せていくというこの案でいいのではないか。新たな賞があった場合はこれを参考に表彰の可否を決め、可とした場合は新たに追記していくという形をとるのがいいのではないか。

～承認～

【議長】この基準は、広く一般に公開するのではなく、推薦者などの一部に公開するという形にした方がいいのではないか。

(4) その他

～特になし～

4 その他

【事務局】その他の配布物について説明。

次回定例会

4月19日(火)